

勝星産業株式会社



TOP MESSAGE

近年、ベトナムの発展はめざましく、外部環境は刻々と変化していきます。これからは現地ワーカーの労働条件はますます重視されていくことでしょう。安価な労働資源だけを求めて進出すると、早期に計画が崩れてしまう恐れがあります。二度の進出を経て実感したのは、成果よりも進出後の苦勞でした。社内で意見を統一し、一丸となって向かわずして海外進出は成しえません。

だからこそ、長期的な視点にたった事業計画を策定し、環境の変化があった場合にも対策を考え、実践していくことが海外進出にあたって最も重要なことであると考えています。

会社設立・1959年12月
社長・門口 克比古
資本金・5,000万円
従業員数・60人

〒932-0211
富山県南砺市井波201
TEL.0763-82-2696
FAX.0763-82-3711
<http://kachiboshi.net/>



- 1 相撲好きだった先代が名付けたというこの社名。躍進を遂げてゆくことを意味している。
- 2 ベトナム工場の歴史を形にしたフラッグ。ベトナムと日本の友好を表すシンボル。
- 3 独自ブランド「GLOOVY」。様々な企業からPRIに活用したいとの注文が多く寄せられる。
- 4 前身となった工場の看板。進出のカギともなった歴史と縁が今も重んじられている。

2度目のベトナム進出 実感した違いと共通点

手袋、軍手を主に製造している『勝星産業株式会社』。厚手・薄手タイプ、天然ゴム、ウレタンコーティング、制

電など数多くの種類を扱っており、着用時のフィット感やボツ付きといった製品のデザイン性にもこだわっている。そして多くのユーザーがそうした製品の高い品質に信頼を寄せている。

前身である『勝星編物化工株式会社』の創業者はベトナム戦争以前の時代に、ベトナムにて手袋の縫製工場を設立していた。その後、ベトナムの鎖国政策により一度は撤退を余儀なくされたが、ベトナムでの事業実績がきっかけとなり、1997年にベトナム中央政府から正式な招致を受けた。

そしてホーチミン経済特区において、二度目にして本格的にベトナム進出へ踏み出した。経済特区においてはインフラが比較的整っており、労働者を集めやすいという利点も進出を後押し、現在は現地従業員数が2000人を超える。

当社で働くベトナム人は日本への憧れが強く、日系企業で働くということ

を誇りに感じているという。また「家族を大切にする」「話を素直に聞いてくれる」「挨拶・礼儀を大事にする」といった日本人に似た資質をもち、互いの価値観に共通するものを感じたという。

一方で昼休憩前後はあまり仕事が入らない傾向にあり、生産性という観点では改善の余地は十分にあるという。ただ極端に生産能力を高めるような労働を強いるのではなく、ベトナム人の資質に合わせた労働環境を意識して現場の指導・教育を進めている。その結果、決して高い給与水準ではないが、退職者はほとんどいない。

そして進出以前から懸念された品質管理においては、本社から社員が定期的に出向き、品質や納期をその目で直接確認しながら指導を行い、高品質を保持し続けている。

【知財ポイント】

中核部材の調達経路から生産工員配置まで、徹底された製造ノウハウの管理

【波及効果】

商品競争力の維持

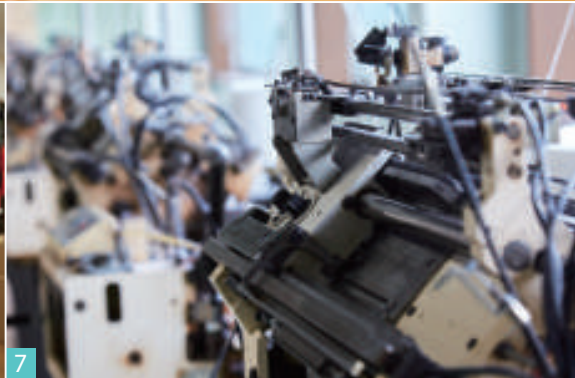


5 社長を務める門口克比古氏。「今までも、これからも、品質が最も大事」と力強く語る。

6 縫製手袋から編み立て機へと変遷を遂げた現在でも仕上げは人の手で行い、均一な品質を保っている。

7 日本国内の工場で使用しているものと同じ機械をベトナム拠点にも導入。200台の編み機が稼働している。

8 優れた機能性が自慢のすべり止め手袋をはじめ、様々な用途に適した製品を展開。



営業部の宮林さん、前田さん。展示会に出展するため準備を行う。グローバルに活躍したいと意欲を語ってくれた。

加速した製品開発 その技術を守る 仕組みづくりとは

ベトナム進出後、当初の目的であった生産コストの削減を図ることができた。また今や看板商品であるすべり止め手袋の製品開発が加速した。従来はグリップ部分に塩化ビニールを使用していたが、ベトナムに資源が豊富なゴムを新たに採用。すべり止め機能を最大限に発揮するゴムを製造するための薬品の調査や、軍手に吸着させる技術にこそ、培ってきた経験が集約されている。製品の核となる部材の調達には全日本を介して行ない、調達手段・調合方法を自社ノウハウとして大切に

現在ベトナムで製造した製品は全て日本国内で販売しており、ベトナム国内では積極的な販売は出来ていない。しかし、ベトナム国内で新設工場の増加、経済発展による所得水準の向上により、当社が得意とする機能性の高い軍手の需要が高まると予想。現在は別会社を経由しベトナム国内向けに少量販売しているが、今後はベトナム国内で販売会社を設立し、自社独自の販売チャネルの構築による積極的な販路拡大戦略に舵を切っていく。

管理している。さらに、現場の製造工程においても配合や縫製、機械のメンテナンス等の各工程に人員を配置し、專業させることで、全体工程を把握する社員は必然的に限定される。そうして部材の調達・製造工程から模倣されない仕組みづくりを実現した。



国内本社では60名、ベトナムでは200名以上のスタッフが勤務している。